

Disaster Imagination Game

みんなでやってみよう！災害図上訓練

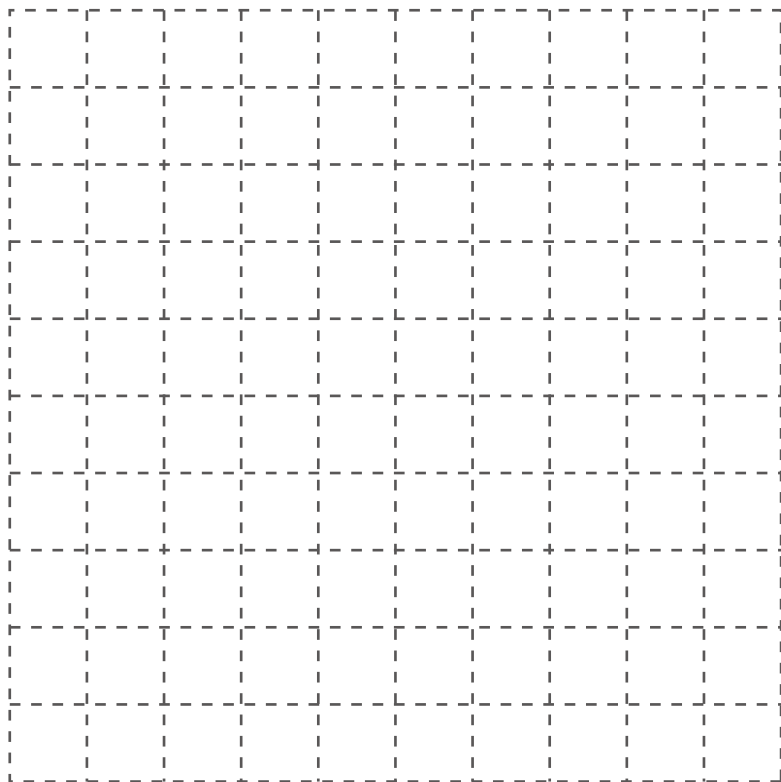
みなさんはD I G（ディグ）をご存知ですか？

D I Gとは、Disaster（災害）、Imagination（想像）、Game（ゲーム）の頭文字を取って名付けられた、災害の発生を想定して行う訓練のことです。日本語名では災害図上訓練といいます。

この訓練は、地震や風水害などの大きな災害が起きたとき、自宅や周辺地域でどのような被害が発生するかを平面図や地図上で想定し、必要な対応策を具体的に考えていきます。

今回、ご家庭でできるD I Gの一例（右）をご紹介します。災害が起こったときにどのように動けば良いかご家族で話し合い、危険な場所は今のうちに改善していきましょう。

右の例を参考にみなさんのご自宅を想定して、実際にD I Gをやってみませんか？



ここで紹介したD I Gは、ほんの一例に過ぎません。想定する災害や、対象者、防災対策など、いろいろと視点を変えてみるとさまざまな形や方法があります。

方眼紙だけでなく住宅地図などを使って、自宅や職場などから避難場所までの安全な避難方法を探してみたり、地域での危険箇所や災害時に役立つ施設などを発見したりする方法もあります。

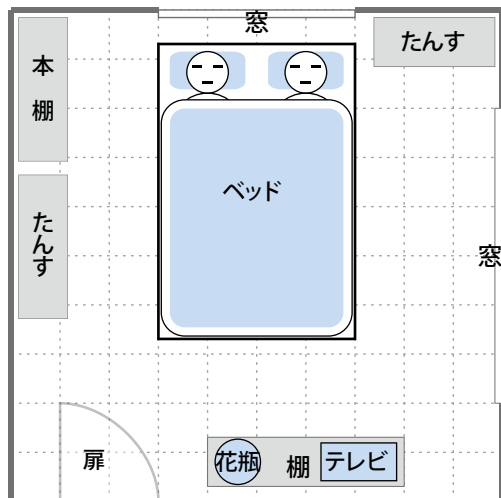
D I Gを行うことで、日ごろ気付かなかった防災対策が明らかになり、防災意識が向上します。みなさんもいろいろと工夫してご家庭や地域でぜひD I Gに挑戦してみてください。

まずはご家庭でやってみましょう

あなたの寝室で地震が発生したら…

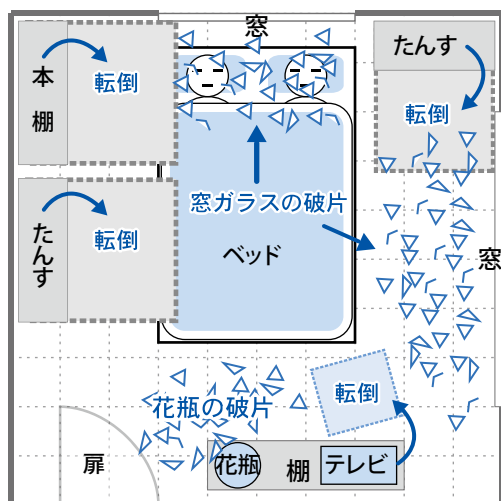
▼平面図づくり

①寝室の間取りや家具の配置、寝る位置などを方眼用紙などに書く。



▼被害状況の想定

②就寝中に大地震が発生した場合、寝室がどのような状態になるか、赤ペンなどで書き込んでみる。



▼対応策を考える

③平面図を見ながら、家族で自宅の危険性を話し合い、どのような対策をしたら良いか考える。

例えば…

○たんす、本棚などには、L字型金具などで固定して、転倒防止を図る。

○万が一、たんすなどが転倒・破損しても、避難経路が確保できるような配置を心がける。

○窓ガラスには、飛散防止フィルムを張る。

○窓ガラスなどの破片を踏んでも大丈夫なように、枕もとには靴・懐中電灯などを用意しておく。

D I Gのご意見・ご感想を市庁舎別館災害復旧対策室（TEL0897-56-5151内線5843）へお寄せください。